

# 砺波市立太田公民館

## ◆事業の目的

農作業を通し、自然の大切さ、伝統文化を学ぶと共に、三世代交流による米作りを体験し、収穫の大変さと喜びを感じる。又、地域を流れる庄川を利用し、自然の中に生きる植物、魚などを観察しながら、自由に泳ぎ、庄川の自然に親しむ。

## ◆事業の流れ

| 実施日       | 活動名           | 場所    | 参加人数 |
|-----------|---------------|-------|------|
| 5月28日(土)  | 赤米作り(田植え)     | 地区内圃場 | 98名  |
| 7月16日(土)  | 庄川の自然と親しもう(1) | 庄川河川敷 | 78名  |
| 7月24日(日)  | 庄川の自然と親しもう(2) | 庄川河川敷 | 59名  |
| 10月29日(土) | 赤米作り(稲刈り・稲干し) | 地区内圃場 | 65名  |
| 11月26日(土) | 赤米の収穫祭        | 太田公会堂 | 75名  |

## ◆事業の様子

### ☆ 赤米作り

田植えは、赤米の由来を聞いた後、苗の持ち方、植え方等の説明があり、各自裸足で水田に入った。上級生は昨年経験して上手であったが、下級生は大変だった様で、水田に足を取られながらも楽しそうに植えていた。

稲刈りでは、鎌を使い一株ずつ刈った後、ワラを使い稲の束ね方、又、束ねた稲の干し方を、年配の方に習い、行った。子供達は真剣な表情で作業をしていた。

### ☆ 庄川の自然と親しもう(1)(2)

昔から地域との深いかわりをもってきた庄川について説明し、クイズ(庄川の長さ・ダムの数・太田橋の長さ等)を楽しんだ後、各自川に入り、泳いだり、水中観察や魚捕りをして、楽しく自然に親しんでいた。

川から上がった後、1回目はスイカ、2回目は庄川で捕った鮎の塩焼きを美味しく食していた。

### ☆ 赤米の収穫祭

当日は、赤米ごはんが炊けるまで、お米について学び、ゲーム、クイズで遊び楽しんだ後、みんなで植え、刈取った赤米でおにぎりを作り、収穫の喜びを感謝しながら、皆で美味しく食した。

最後に、赤米のワラを利用し、正月飾りのしめ縄作りを、高齢者の方に教わりながら作った。子ども達は、悪戦苦闘して作ったしめ縄に満足そうな笑顔を見せていた。



## ◆事業の成果と課題

地域の豊かな自然の中で、三世代交流を通し、伝統文化を学び、故郷を愛し、故郷を理解する心を育てる有意義な事業であると思う。赤米作りは毎年行っているが、今後も続けたい。また、庄川の歴史等を説明し、水の恐さ、有り難さを理解させる事業にしたいと思う。